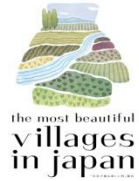


美しいむらづくりネット

No. 5 (平成22年1月18日) 馬瀬地方自然公園づくり委員会

TEL 0576-47-2111



農村・森林・林業に兆し

新年おめでとうございます

皆さんお揃いでよい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年暮れには思わぬ大雪となりましたが、その後は比較的穏やかでしたが、第2弾の寒波が襲うなど、まだ予断を許さないお正月でしょうか。各ご家庭とも久しぶりに子供や孫たちと一緒に過ごした数日間は何よりの喜びだったのではと思います。

さて、景気低迷の中で、平成22年度の国の予算案がほぼ固まりました。マスコミはケチばかりで国民の不安を掻き立てる一方ですが、みんなで成し遂げた政権交代、そして新しい考えによる国家予算配分。これからが楽しみです。注目すべきは、農水省が今度の通常国会に提出する4法案。中でも、学校や自治体の庁舎など公共建築物に国産木材の利用を促す法案が出されることです。この国産木材利用促進法案は、国内林業の振興はもとより、たとえばこれまで全国の子供たちが冷たいコンクリートの校舎で勉強するのが一般的でしたが、馬瀬小学校のように木のぬくもりのある木造校舎にし、しかも一定量の国産材を使用することが法律によって義務付けられるのです。木材の価格低迷、林業の不振からの脱却の兆しといえるのではないのでしょうか。

60年も続いた自民党政権では全くできなかった本格的な国産材による木材利用。山村が元気になれるか。大いに期待したいものです。



馬瀬小の学習発表会の様子(馬瀬小提供)

盛り上がった学習発表会

1年間の学習を振り返り、その成果を全校の前で豊かに表現できる力を身につけようと、12月12日(土)馬瀬小学校全校児童によって「学習発表会」が開かれました。発表内容は、2年生による元気いっぱいの劇から始まり、続いて1年生による合奏や国語の発表。5年生はトヨタ自動車工場見学を劇に。3年生は、リコーダーと縄跳び。4年生は、馬瀬川学習を劇に。そして、最後に6年生が“絆”をテーマに馬瀬小学校にかける自分達の願いを発表しました。会場には、150名を越える父兄はじめ地域の方々が参観に来られ、大変盛会でした。(文馬瀬小提供)

「美輝」シールラリー2位

全国の温泉好きの応募者が選ぶ「温泉シールラリー2008-2009」版では、またもや「美輝の里」がベストテン2位の栄誉を獲得しました。このラリーとは、全国の温泉ファンの方々(温泉横綱といわれ

る347名、また応募総数4000通)から毎年選ばれるもの。ランキング方法は、泉質、施設、接客の項目ごとにベスト10で、1位は「ひらゆの森」、3位は「乗鞍高原湯けむり館」となっています。「**美輝の湯**」の泉質の良さは天からの授かりものですが、施設や接客はホテル関係者の皆さんの努力に委ねられるところです。貴重な資源を最大限に有効活用し、多くの温泉愛好家に親しまれるよう、関係者の皆さんに期待するとともに、私たちも地域を挙げて応援して行きましょう。

今年もつくりましたかネズシ

独特のかたちと味の「ねずし」は、馬瀬地域の正月料理として古くから伝えられてきました。このところ、食文化について考えられるようになって、馬瀬の「ねずし」が脚光を浴びるようになりました。つくり方などは、各家庭で昔から伝えられてきたもので、これをいただくと、味も形も色も少しずつ微妙な違いがあり、まさにホームメイドの料理といえます。今回、次の二人の方々につくり方など取材させていただきました。

尾里しずさん(馬瀬数河)の場合、まず、大根を千切りし、2日間塩漬けします。その後水切りして千切りした人参、大きめの鱒1本、頭部も全部入れ、柔らかめに炊いたご飯1升、麴2袋(5合に1袋)混ぜ合わせてホウノキの葉でふたをします。高山市出身のしずさんは、昭和34年に馬瀬に嫁ぎ、本家の義母まささん、兄嫁のしずさんから尾里家伝来の製法を伝授されました。

また、二村さかえさん(中切)の場合は、大根とにんじんのつくり方までは尾里しずさんと同様、これに柚子を加えます。肝心な味付け、塩加減などは、秘密なのか二人からは詳しくは取材できませんでした。

ポスター用写真の決まる

前号でお願いした、この地域をPRするポスター用写真を公募したところ、皆さまから多くの写真が届きました。早速、地方自然公園づくり委員会会員メンバーの皆さんの投票を行い、新たなポスター用写真が選ばれました。今回は秋バージョンとすることになっており、紅葉に染まる地域の素敵な写真が馬瀬の魅力を一層引き立たせ多くの方に見ていただくこととなるでしょう。応募していただいた皆さんにお礼申し上げます。ありがとうございました。(ポスター写真は次回に発表)



降り積もった雪

編集後記

本号を出すのに少し手間取ってしまいました。理由はありません。正月だから少しは余裕ができるのではと思いきや、なかなか時間がありません。お正月はいくつになっても待ち遠しく、大好きです。その理由は、世界中全員に、差別なく一斉に平等に来るからです。今年も腕によりをかけて家族全員分のお膳を用意しました。鰯の照り焼、かずの子、五種盛り、てんぷら、茶碗蒸し、酢の物など、すべて祖先から引き継がれてきたものです。ねずしは、残念ながら私にはきません。近所からいただきました。皆さんのご家庭ではどのような年越し料理でしょうか。さて、今年も村づくりネットをよろしくお願いします。(naka)